

## 第8回 天神川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

1 日時：令和3年5月28日(金) 10時10分～11時30分

2 会場：Web会議

3 出席者

(委員)

倉吉市長 石田 耕太郎

三朝町長(代理) 危機管理局係長 片岡 大

湯梨浜町長(代理) 副町長 亀井 雅議

琴浦町長(代理) 総務課参事 佐藤 陽一

北栄町長(代理) 総務課長 磯江 昭徳

鳥取中部ふるさと広域連合(代理) 警防課長 米田 健二

気象庁 鳥取地方気象台長 弘田 実

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所長 山田 明

鳥取県 危機管理局長 西尾 浩一

鳥取県 企業局長(代理) 工務課長 小川 芳郎

鳥取県 県土整備部長(代理) 次長 蒲原 潤一

鳥取県 中部総合事務所県土整備局長 酒本 勇一

4 議題

(1)規約改正について(県資料1)

(2)2021年夏の天候の見通しについて(県資料2)

(3)今年度の取組について(県資料3-1、3-2、県参考資料1、2)

(4)流域治水プロジェクトについて(県資料4-1、4-2、県参考資料3、4、5)

(5)その他(県参考資料6、7)

5 議事概要

(1)規約改正について

○天神川圏域県管理河川の減災対策協議会規約 別表2 幹事会構成員の役職変更について承認された。

(2)2021年夏の天候の見通しについて

○気象台から、2021年の今後の3か月予報・1か月予報、今年の夏の天候による鳥取県への影響について報告があった。

(3)今年度の取組について

○昨年度の主な取り組みについて状況報告を行うとともに、今年度の取り組みとして、堤防舗装等の堤防強化、樹木伐採・河道掘削等の治水対策、ダム放流の安全・避難対策や、避難スイッチモデル事業などに取り組んでいくことを確認した。

- 昨年度は、倉吉市内に浸水表示板を地区公民館など14施設に設置した。今年度は、13の小中学校に設置予定。
- 昨年度は、支え愛マップの作成支援やマップを利用した避難訓練、消防団による水防訓練、小学校への防災教育を実施した。
- 昨年度は、防災無線設備や屋外発電施設の防水対策、地区防災計画の作成や防災リーダーの育成を行った。今年度は、排水機場整備工事について着工する予定。浸水深表示板についても作成予定。
- 昨年度は、土砂災害、津波に加えて鳥取方式洪水浸水リスク図による浸水範囲について掲載した防災マップを作成し、町内全戸に配布、またWeb版をホームページに掲載することにより、リスクについて周知を行った。
- 今年度は、ハード対策として避難道路となる道路の嵩上げを行う。また、防災士の養成や避難所に公衆WiFiの設置などのソフト対策を行う。

#### (4)流域治水プロジェクトについて

- 中部管内を2つのエリア※に分け、二級水系の流域のあらゆる関係者が協働して行う治水対策を「二級水系流域治水プロジェクト」としてとりまとめることについて協議し、流域治水部会等により作成した案のとおり承認された。また、今後、速やかにHP上で公表することとした。…令和3年6月4日(金)に公表済  
※中部管内は、橋津川外流域治水プロジェクト(県中部東エリア)、由良川外流域治水プロジェクト(県中部西エリア)の2つを策定

#### (5)その他

- 災害対策基本法等の一部が改正され、避難勧告・避難指示が一本化されること等について再確認するとともに、県管理河川の「河川水位情報」と「警戒レベル」の関係についても確認した。

#### (主な意見)

- 浸水深表示板を倉吉市や中部総合事務所などで設置しているところだが、これを契機に各市町において住民個々の避難計画であるマイタイムライン等の取組を進めていただければと思う。
- マイタイムライン・地域防災計画の見直しなど防災につながるよう具体的な取組に繋げていきたい。
- 災害対応ができるよう準備している。いざ災害が起こった場合は全力で対応する。
- 安全安心なダムに管理に努めたい。事前放流に関しても地元の三朝町と緊密に連携して取り組んでいきたい。
- 流域治水をわかりやすく説明するよう、補足資料についてもあわせて公表されるのか。  
 ⇒流域治水プロジェクトとしては位置図とロードマップのみを公表する。